



12月1日現在の推計人口443,313人、世帯数205,864世帯

発行日 毎月10日・25日
編集 藤沢市広報シティブロモーション課
〒251-8601 朝日町1-1
☎0466(25)1111 ㊟0466(24)5928

★ 12月もいろいろなニュースがありました

2025年の出来事

2025年にあった、藤沢市のさまざまなニュースを振り返ります。

問い合わせ
広報シティブロモーション課☎内線
2121、㊟(24)5929



ハーフマラソンが新設された湘南藤沢市民マラソンに、多くのランナーに参加していただきました。



岩手県大船渡市に派遣された緊急消防援助隊は、消火活動や遠距離送・排水システム車による送水活動などを行いました。

市民の津波避難先の一つとして、片瀬海岸に津波避難タワーが完成しました。トイレや防災備蓄品も備えています。



藤沢のブドウ生産に対する意欲が高く評価され、藤稔が「かながわブランド」に登録されました。

手話リンクの導入により、手話通訳オペレータを介し、手話によるお問い合わせが可能になりました。



平和式典では、広島市長や長崎市長らによるパネルディスカッションや、俳優のサヘル・ローズ氏の講演会などが行われました。

- 1月**
 - JR東海道本線村岡新駅(仮称)・自由通路の着手式を開催
 - 藤沢市公共施設予約システムをリニューアル
 - 藤沢市公式ホームページをリニューアル
 - 第15回湘南藤沢市民マラソンでハーフマラソン(日本陸上競技連盟公認ハーフコース)を新設
- 2月**
 - 埼玉県八潮市で発生した下水道管破損に起因する道路陥没を受け、下水道管の緊急点検を実施(結果:異常なし)
 - 自治会・町内会会員を対象に湘南の宝石イルミネーション点灯体験イベントを開催
- 3月**
 - 海老名市とパートナーシップ宣誓制度に係る自治体間連携に関する協定を締結。本市ではオンライン宣誓も導入
 - 岩手県大船渡市林野火災に伴い緊急消防援助隊を派遣
- 4月**
 - 市政運営の総合指針2028を策定し、未来を見据えた持続的な行政運営を行うために新しい組織を始動(市長室の設置、市民センターと公民館の一体化、こども家庭センターを中心とした相談支援体制の強化、ゼロカーボン推進課の新設など)
 - 遠藤葛原線(葛原第1工区)約560mが開通
- 5月**
 - トンボロを歩いて江の島に渡るよう常設階段が整備される
 - 24年の観光客数が2000万人を突破し過去最高を更新と発表
- 6月**
 - 市制施行85周年記念事業「Instagram フォトキャンペーン ふじさわ キュンコレ100」を開催
 - ふるさと納税限定の3海水浴場共通「海の家利用券」をお礼品として提供
- 7月**
 - 市制施行85周年記念事業「かこさとし作品展～これまでの100年、そして未来へ」を開催
 - 市制施行85周年記念事業として、戦後80年に合わせて収録した市内の戦争体験者のインタビュー動画を公開
 - 24年度ふるさと納税寄付額が過去最高額を達成と発表
 - 片瀬海岸3丁目に津波避難タワーが完成
- 8月**
 - 藤沢生まれのブドウ「藤稔」が「かながわブランド」に登録
 - 東京大学生産技術研究所、ジオ・サーチ(株)、藤沢市による「空洞ポテンシャルマップ」の開発を発表
- 9月**
 - 手話通訳オペレータを介した問い合わせサービス「手話リンク」を導入
 - リサイクルプラザ藤沢で火災発生
 - 藤沢市民まつりを開催。50回記念の特別企画を実施
- 10月**
 - 新しい村岡市民センターの供用開始
 - 江の島岩屋の入洞者数が900万人を達成
- 11月**
 - デフリンピック ポルトガル選手団がアサンテススポーツパーク(県立スポーツセンター)で事前キャンプを実施
 - 市制施行85周年記念事業「戦後80年藤沢市平和式典」に広島市長、長崎市長、サヘル・ローズ氏が登壇
 - 日本夜景サミットが藤沢市で開催され、「湘南の宝石」が日本三大イルミネーションに初認定
- 12月**
 - 藤沢市などが主催するイベント情報をまとめて掲載するイベントプラットフォームを開設
 - 地域医療機関、市民病院、保健所による新興感染症等発生想定合同訓練を本市で初めて実施